

No	問1:新設と大規模改修について	問2:認定こども園への移行について	問3:新たなサービス(病児・医ケア等)について	問4:その他 再編に関する意見
1	●新設は良いと思います。配置も第四保育所区域は私立の保育所があるため第二保育所区域が良いと思います。 ●第二保育所区域の保育所は少ないですが、児童数はある程度いるため、第二保育所区域に保育所は必要だと思います。駐車場も現時点で不便は感じていません。道は細いですが、大きめのワンボックス二台がすれ違える道もあるので、毎日市内の道路ではあたり前の道幅だと思っています。	●認定こども園への移行については、事務局案の方向性に記載してあったとおり教育が不足する状況になった際に切り替えていく方法で良いと思います。スタートは保育のニーズの方が高いと思います。	●発達支援のお子さんもいるため、部屋を多めに確保してほしいです。医療的ケア児などは、ニーズに応じて対応できるよう部屋の確保をして今後の対応で良いと思います。 ●看護師の配置は旭市で保育士として働いていた際、病児保育を利用している子がいないときの看護師の仕事内容で、保育補助をするのかしないのかという問題があったので、そこも難しいのかなと思いました。	●再編し、子どもの定員が減る際、現場の時点で働いている会計年度職員の事もきちんと考えてほしいです。辞めさせるだけではなく、再就職先を考えるなどの対応をしてほしい。
2	●第二保育所の隣接地(後飯町公園)への新設がよいのではないかと考えます。	●柔軟な考えでよいと思います。移行に賛成です。全国の他の自治体でのケースで多く見られるということは、メリットが大きいという意味なのでは…。	●可能ならば、取り入れるべきサービスだと思います。	(未記入)
3	●新設の方がよいと考えますが、先の見通し(この時はこうする)も明確にしておいた方がよいと思います。ただ、駐車場については見通しが若干甘い気がします。現場の気苦労は相当なものだと察します。	●「公立」として存続の道があるのなら、移行してもよいと考えます。	●ニーズの高まりによるかとは思いますが。(職員確保等の人の問題も出てくるのでは) ●学校現場から言わせていただけるならば、学校はどうしても保育園等と比較され、同様のサービスを求められることがあるので、同じ市として学校教育までを考えて検討していただけると助かります。(他課との連携)	●再編やむなしだと考えます。公立らしい魅力ある保育園になるとよいのでしょうか。
4	●色々なご意見があると思いますが、公立保育所の再編にあたり新設した方が良いと思います。理由としては、保育所の建設年数が40年以上経過しているためです。	●幼稚園と保育所の両方の機能を合わせることは一貫性の面でも保護者にとってありがたいシステムだと思います。	●病児保育事業や医療的ケア児の受け入れは色々な事情で預けないといけない事もあるので、良いサービスだと思います。 ●新たなサービスにあたり誰もがわかりやすい説明を含めた参考資料があると安心材料となり良いと思います。	●色々なご意見を聞くことができる場所に参加させて頂きありがとうございます。今後ともよろしくお願ひします。
5	●総合的に考えると、後飯町公園に新設が妥当かなと感じています。懸念点として「周辺道路がやや狭い」とありましたが、銚子市自体狭い道路ばかりであり、駐車場がきちんと整備されているなら路駐により混み合うという事態にもならず問題ではないように思います。	●1号認定の需要はさほど高くないように感じており、現状で不足がないのであれば、保育所としてスタートで良いかと思っています。	●急に休むことのできない親御さんにとってはとてもありがたいと思います。ただ、同じ建物で受け入れるのであれば、健康児に病気が移ることのないよう、きちんとした隔離空間が必要であり、別々の出入口であることや都度の消毒の徹底等も大事であると思います。 ●導入するのであれば建物の設計の段階からその点を考慮して建てて頂きたいです。	●場所に関しては第二保育所利用者と第四保育所利用者の間で全員が納得することは不可能だと思います。どこの場所であっても誰かからは不満は出ると思います。 ●令和12年～なのであれば今通っている子の多くは卒園しています。大事なのは入所するであろう子達の家庭にしっかりと情報提供をし「選択できる環境」を作ることだと思います。(下の子がいるかもしれませんが…)
6	●二つに一つであれば、新設がよい。 ●改修する場合、そのときに通所している保育児への対応が難しい。 ●認定こども園に移行する場合は、より保育に適した施設ができる。 ●児童を送迎する車の出入りについて、現状できているからよいというのではなく、新設するときにより車の出入りがしやすいようにできるとよい。	●認定こども園への移行はよいと思う。 ●様々な家庭のニーズに対応できる。	●現在、そして将来、どれだけの需要があるのかがはっきりしないことが懸念されるが、セーフティネットとして公立保育所に役割を持たせることは必要だと思う。 ●病気や医療的ケアを理由に保育所には入りにくい児童に対応できるのはよいことだと思う。また、小学校や中学校の状況を見ると特別支援学級が増えている現状がある。その現状を考えると配慮を必要とする児童がある場合、安心して任せることができる施設があることは大切だろう。	●将来の出生数について、現在の推計は適当となっているのか。事務局の出生数推計の根拠は一般的な推計としていたが、それでよいのか。現在の銚子市の人口は将来推計よりも下回って一層減少しているのではないか。 ●委員から「将来推計が少し甘いのではないか」という意見があったが、一般的な推計は当然だが、銚子市の実情を見たときそれでいいのか、しっかり説明できるとよい。 ●銚子市で保育の広報等にLINEを活用しているが、LINE登録するということは積極的な行為だと思う。消極的な人へも情報が届くようにするための方法があるとよい。
7	●単純に考えると現第二保育所を改修して使えるならそれでいいと思っていました。ただ、預ける側からすると改修中、約2年間、第三保育所へ預けるとなると距離的に不便に思います。現保育所へ通わせながらとなると現実的に後飯町公園へ新設が、場所、駐車場、長期予算的にもベストと考えます。 ●周辺道路は狭いが、慣れればそういうものとなり、イベント時は現駐車場に加え所庭を開放してくれているので、現状、新駐車場ができてからはスムーズに感じます。(個人的には)	●子供が生まれて、最初に預けることを考えるとまず保育園・所だと思います。事務局の方向性にあったように、まず保育所でスタートして、途中1号認定ニーズが増えてきた時点で検討してよいと思う。	●病児保育はあるとありがたい。個人的には今まで子どもの発熱等で仕事を急遽休まざるをえないことが多くあり、受け入れ施設があることは知っているが、全く行ったことない施設へは、やっぱり預けづらいと個人的には思います。ただ全体としてみた継続維持費とニーズのバランスだと思うので、事務局案のとおり、ニーズ把握は大事だと思います。	●公立保育所、1つは残してほしい。様々な生活パターン、状況があると思うので選択肢はあってほしいです。 ●「新設と決めたが建たない…」となるのは不安。(他校例のように) ●市内各建物が老朽化している中で保育所よりも優先すべき施設があれば、そっちを優先し、今の保育所をぎりぎりまで使ってもいいのかな…と思ったりしますが、すでに限界なのかな。預ける親としては新設はとてもありがたいですが…。 ●もし後飯町公園新設なら取り壊した第二保育所跡地に、今の後飯町公園の遊具より少し良い位の公園ができると嬉しい。昔から保育所終わりに友達と公園で遊ぶのが日課みたいになっているので…(保護者の意見までです)
8	●老朽化した施設を改修しながら使い続けるよりは、新しく建てる方が良いと考えます。	●資料にあったとおり、銚子市では保育所の需要が高いと思うので、移行は必要はないと考えます。	●現状、需要は低いとのことだが、そういったサービスを整えることで、銚子市が子育てをしやすい街としてアピールできるポイントにもなり得ると思う。	●会議中、公立の保育所自体必要がないのではといった意見も出ていたが、私自身子供を3人保育所に通わせ大変助かっています。
9	●新設が望ましいと考えます。 ●既存施設の改修では、既存施設による制限を受ける可能性があり、結果として、公立保育所再編のための不十分な施設を建設することになりかねません。公立保育所としての機能を十二分に果たす施設を作り上げるためにも、新設すべきです。 ●新施設の建設候補地として、第二保育所、旧第三保育所、第四保育所のある場所のみとしています。が、旧第三保育所と閉校後の第一中学校の跡地を合せて候補地することも検討すべきと考えます。	●民間施設で1号認定の量を充足する見込みならば、移行の必要はないと考えます。ただし、新保育所施設は、認定こども園への移行にも対応できる施設として建設し、必要に応じて、認定こども園に移行できるように準備しておくべきと考えます。	●病児保育事業や医療的ケア児の受入れについては、需要があれば新サービスとして実施すべきと考えます。よって、事務局案のとおり、現時点で需要が無くとも、新保育所施設において将来的に病児保育事業や医療的ケア児の受入れに対応できる部屋を確保し、準備しておくべきと考えます。	●保育所再編基本計画には、現場の職員(保育士、調理員、管理栄養士等)の意見を取り入れること。 ●新保育所施設の設計において、建設位置、部屋・施設の数や種類(乳児室、ほふく室、医務室、調理室、トイレ、保育室、研修室、会議室、事務室、職員室、屋外遊戯場、屋内遊戯場、遊具、プール、駐車場など)、部屋や施設の配置、施設へのアクセスその他の要件について、現場の職員の意見を取り入れること。 ●新保育所の運営について、現場の職員の意見を取り入れること。 ●新たな保育所には、保育士、調理員、栄養士、事務職員、清掃員、用務員など、職員が各々の職務に専念できるように、充分な人数の常勤職員を配置すること。 ●職員の年齢構成にゆがみが生じないように定期的に職員を採用すること。
10	●新設案について、立地や利便性を考慮するのであれば、他の公園敷地ではできないのでしょうか？廃校となる小・中学校なども十分な面積が確保できると思います。 ●まずは1園にするのではなく、2園で各60名定員120名程度とする方が良いと考えます。 ●大規模修繕について、旧第三保育所の公適債が使えない以外は、駐車場問題位かと思います。近隣の第一中学校には職員駐車場が整備され、グラウンドの一部を利用すれば登降時の駐車場整備費用も抑えられるのではないのでしょうか。	●会議にて事務局案の方針に賛成します。現実として保育ニーズを考えると、民間においても認定こども園への移行は難しい状況であると思います。	●実際に保育所内において病児保育事業を行うと、看護師の配置やスペースの確保が難しい現状があります。現状の利用状況を考慮すると、民間病児保育施設の利用促進を前提に、新たに利用料免除や減額等、すぐに対応できることから始めてはいかがでしょうか。 ●市立病院において、公立の病児保育施設は出来ないのでしょうか？病院併設であれば、人員やスペースの確保が可能であると考えます。	●会議においても発言させていただいたが、この会議の意見のみではなく、銚子市公共施設等総合管理計画を基本として、広く市民の意見も取り入れながら計画を精査する必要があると考えます。 ●公立施設の老朽化もありますが、民間施設においても当然老朽化は進んでいます。子どもたちが安心・安全に過ごすことが出来るよう、その整備においては公立のみならず、同じ市民の児童が通う民間施設への配慮も必要であると考えます。
11	●建物の老朽化や子ども人数が年々少なくなってきた中で新設や既存施設の大規模改修がこの先のように影響するのかをしっかりと考えてほしいと思う。	●全ての条件が整うのであれば良いと思う。	●子育てをしている立場にある人たちにとってはとてもありがたい新たなサービスであるが、人材や環境の確保を考えると難しく感じる。	今のところありません。
12	●銚子市の急激な少子化と今後の出生予測を考えれば、今このタイミングで多額の公費を投じて新設や大規模改修を行うことには強い懸念を覚えます。建設時だけでなく、将来の維持管理費が次世代の大きな財政負担になることは確実です。 ●まずは向こう10年～20年の児童数推移を厳しくシミュレーションし、既存施設の一部修繕や他施設との複合化等投資を最小限に抑える選択肢を含めてゼロベースで再検証しても良いのではないのでしょうか？	(未記入)	(未記入)	(未記入)
13	●新設・大規模改修については、必要性を感じておりません。 ●少子化が進む中、多額の費用をかけて、新設・改修を行うことが適切なのかな疑問があります。また、その後も維持管理費や将来的な解体費用が発生することを考えると、費用対効果の面で納得できません。 ●資料にある通り試算には、その他の費用として解体費がプラスされるので今現在の人口、子どもの人数に対してどうなのかなと感じております。	●市内にはすでに認定こども園があり、教育・保育の受け皿は確保されていると考えます。そのため、新たに公立保育所を認定こども園へ移行する必要はないのでしょうか。 ●現在は定員が少ないですが過去はもっと多かったですし、台風など天候の悪い日でも見ていただけたり、時間もその家庭のニーズに合わせて対応いただけるのではないかと感じております。	●医療的ケア児への対応や病児保育の充実については、必要な取り組みだと思います。しかし、その前提として地域の医療体制が十分に整っているのか。その状況で、どのように運営していくのでしょうか。 ●施設の特性や民間連携の活用を含めた要件の確認が非常に重要になってくるのではないかと考えます。	●放課後クラブ施設の充実化など、まずは対処すべき問題から、お願いできればと思います。 ●現在は、私立保育園や認定こども園が複数あり、少子化で出生人数も減少しているので、公立保育所の利用を希望する方について、私立保育園や認定こども園への入園を促し、その分市より補助金という形で各園へ支援したり、各家庭へ入園準備金等を支給したりの方がより効率的な子育て支援につながるのではないのでしょうか。 ●限られた財源を有効活用し、子どもたちや保護者にとってよい支援につながるように慎重な検討をお願いします。 ●市内公園は老朽化でみんな他市、他県へ行きます。天候に左右されず子どもたちが遊べる新設や充実を望む声を多く聞きます。(商業施設内遊具は歳が上がりすぎて遊べない)。子育て世帯は、他県、他市の施設の利用が多く、その結果、飲食や買い物などの消費も市外で行うことにより、市での経済活動につながりにくくなっている。お金が市外へ。